

挑戦を未来の力に

PROTO
プロトコーポレーション

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社プロトコーポレーション
東証プライム/名証プレミア 証券コード：4298

2024年8月5日
(決算説明会2024年8月5日)

1. 2025年3月期第1四半期 業績サマリ

P.3~13

2. Appendix

KPI・業績/ビジネス概要・会社概要

P.14~26

2025年3月期 第1四半期 業績サマリ

当社グループ事業領域の足元の市場環境

プラットフォーム

中古車領域

- ・ 2024年上半期累計の中古車登録台数（乗用車+軽自動車）は前年同期を上回る
- ・ 中古車オークション相場は1月から6月までのすべての月で前年同月を上回る

整備領域

整備钣金ソフト

- ・ 整備事業の認証工場は前年対比増加、指定工場は前年対比微減
- ・ OBD検査開始に向け、6月末時点での特定整備認証取得数は全体の約65%

新車領域

- ・ 2024年上半期累計の新車販売台数（乗用車+軽自動車）は前年同期を下回る

コマース

タイヤ・ ホイール事業

- ・ 原材料高騰により、3年連続でタイヤメーカーは販売価格を値上げ

中古車輸出

- ・ 2024年1～5月累計の中古車輸出台数は前年同期を上回り、過去最高を記録

チケット 販売

- ・ 消費者は物価上昇を予測しており、今後も節約志向が高まる見通し
- ・ インバウンド需要は活況であり、2024年6月の訪日外客数は過去最高を記録

出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ、一般社団法人全国軽自動車協会連合会統計データ、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会統計データ、日本中古車輸出業協同組合統計データ、日本政府観光局統計データ、当社調査データ

2025年3月期 第1四半期 全社実績

全セグメントで売上高が計画達成、増収と順調に成長

経常利益、四半期純利益は計画達成も、主に前期にタイヤ・ホイール事業において通貨オプションにかかるデリバティブ評価益を計上した影響により減益

(単位：百万円)	当期計画 2025年3月期 4月-6月	当期実績 2025年3月期 4月-6月	計画対比	前期実績 2024年3月期 4月-6月	前期対比
売上高	27,729	29,690	+7.1%	27,220	+9.1%
営業利益	1,769	2,277	+28.8%	2,231	+2.1%
経常利益	1,768	2,323	+31.4%	2,755	▲15.7%
親会社株主に帰属する 当四半期純利益	1,199	1,595	+33.0%	1,808	▲11.8%

2025年3月期 第1四半期

セグメント別実績

(単位：百万円)

		当期計画 2025年3月期 4月-6月	当期実績 2025年3月期 4月-6月	計画対比	前期実績 2024年3月期 4月-6月	前期対比
プラットフォーム	売上高	7,938	8,145	+2.6%	7,767	+4.9%
	営業利益	2,168	2,502	+15.4%	2,430	+3.0%
メディア	売上高	6,429	6,565	+2.1%	6,309	+4.1%
	営業利益	1,780	2,041	+14.7%	2,041	+0.0%
サービス	売上高	1,508	1,579	+4.7%	1,457	+8.3%
	営業利益	388	460	+18.6%	389	+18.3%
コマース	売上高	17,826	19,382	+8.7%	17,316	+11.9%
	営業利益	100	90	▲10.3%	163	▲44.7%
物品販売	売上高	7,610	8,594	+12.9%	7,166	+19.9%
	営業利益	45	32	▲29.2%	62	▲48.4%
チケット販売	売上高	10,215	10,788	+5.6%	10,150	+6.3%
	営業利益	54	57	+5.4%	100	▲42.4%
その他	売上高	1,964	2,163	+10.1%	2,136	+1.3%
	営業利益	60	229	+278.3%	137	+66.8%

中古車領域

(メディア)

国産車/輸入車販売店ともに新規営業を強化し、取引店舗数を大きく拡大

第1四半期は、新規営業を強化し取引店舗数を拡大。また、既存取引店舗においては、中古車販売店の成約を支援するオプション商品「AIレコメンドスペース」、DXを推進する「MGカレンダー」、「MG AI」の導入店舗数が伸長。

整備領域

(メディア)

整備工場ネットワーク拡大に注力し、取引工場数が拡大

整備領域に新たに参入する企業への営業を強化し、取引工場数拡大のペースが加速。10月からのOBD検査導入を前に、整備工場ネットワークの拡大を図るため、グー故障診断の取扱い工場を開拓。引き続き、ネットワークの拡大に努める。

新車領域

(サービス)

オプション商品の導入が拡大し、月額単価が上昇

「DataLine SalesGuide」は、一時的な取引拠点数の減少はあったが、国産車メーカー、輸入車インポーターとの協力体制によって営業を強化し、前年同期比で取引拠点数が増加。輸入車インポーターへの営業を強化し、「DataLine AI査定」の取引拠点数が増加するなど、オプション商品の導入拡大によって月額単価が順調に上昇。

整備钣金ソフト

(サービス)

新規顧客の獲得を強化、引き続き取引顧客数の拡大を進める

システムの契約数が前年同期比で増加し、取引顧客数が拡大。新規顧客の獲得は、引き続き強化を図る。既存取引先の契約更新ターゲットも前期対比で増加するため、引き続き取引顧客数の拡大を進める。

タイヤ・ ホイール事業

(物品販売)

物流拠点の増設、販売単価の見直しにより、売上計画を達成

輸入タイヤは、円安進行により仕入れ原価が上昇したが、販売価格の断続的な見直しにより、売上計画を達成。国産タイヤは物流拠点の増設による在庫数拡大に伴うEC販売・グループシナジーの強化により、販売本数が堅調に拡大し、売上・利益計画ともに達成。

中古車輸出

(物品販売)

マレーシア向けの販売が好調に推移するも、相場高が利益に影響

主要輸出先であるマレーシア向けの輸出台数が計画を大きく上回り、売上高は中古車相場の高騰も重なり計画を達成。一方、収益性の高い自社サイト経由での販売台数は計画未達。輸出需要は活発なため、引き続き販売台数拡大を目指す。

チケット販売

(チケット販売)

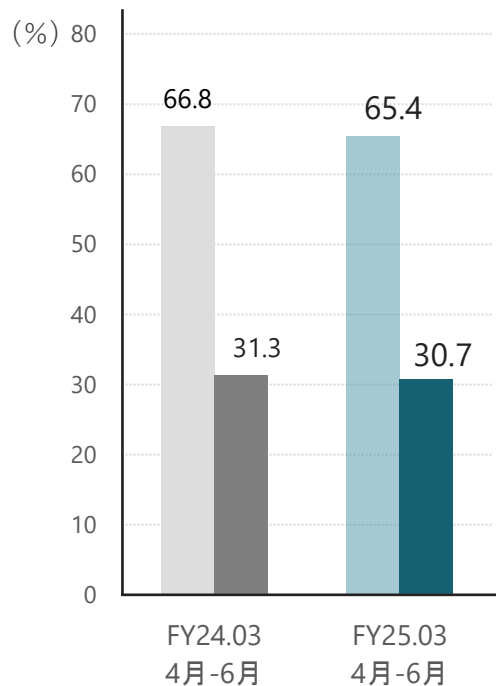
販売シェア拡大のための買取仕入れが好調

需要が高まっている旅行・レジャーチケット、ビール・食事券等の粗利率の高い商材の買取仕入れ、販売が好調に推移。新規出店により、首都圏エリアでのドミナント戦略を推進。プロモーションの強化によりECの集客数が増加し、販売のみでなく買取数拡大にも寄与。買取により仕入れた商品在庫を第2四半期での販売に繋げていく。

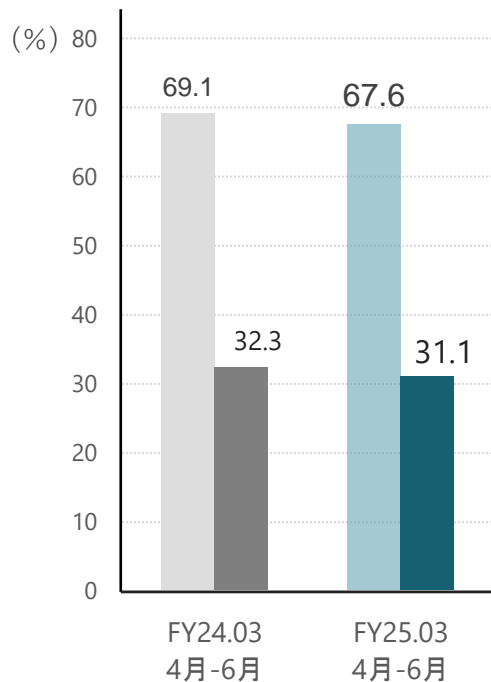
サービスの売上高営業利益率が改善、メディアの収益性は今後改善を図る

■ 売上高総利益率 ■ 売上高営業利益率

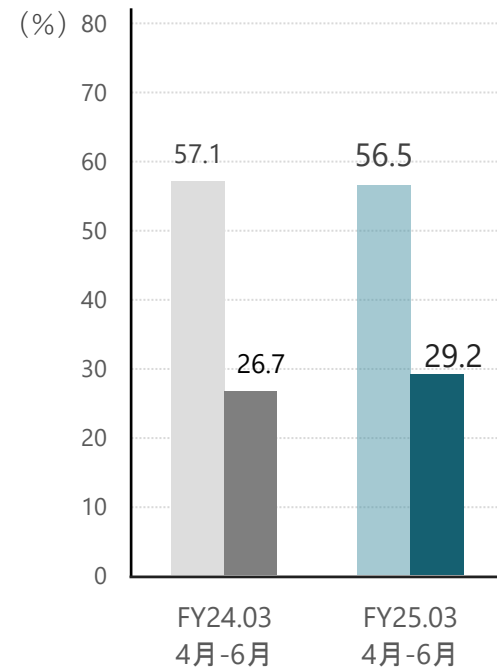
プラットフォーム全体



メディア



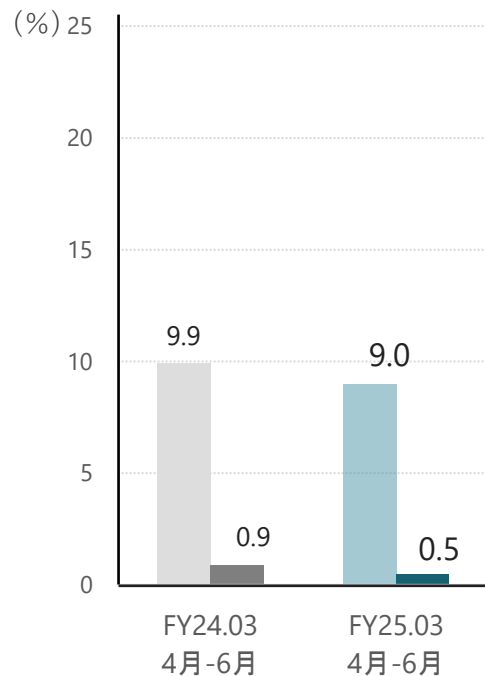
サービス



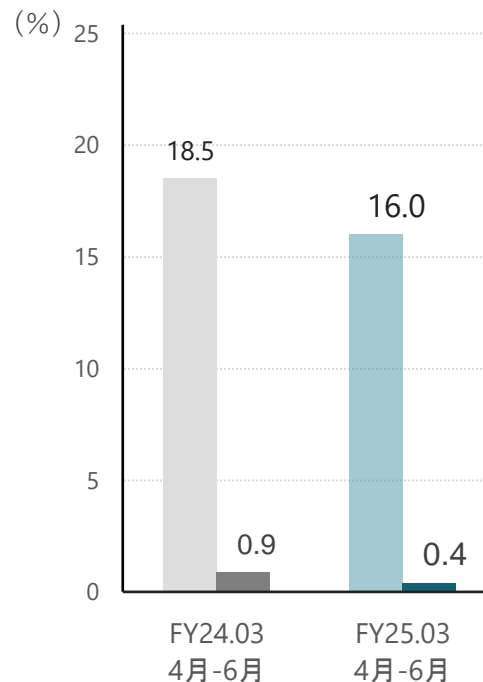
売上高総利益・営業利益率について、引き続き収益性の改善を推進していく

■ 売上高総利益率 ■ 売上高営業利益率

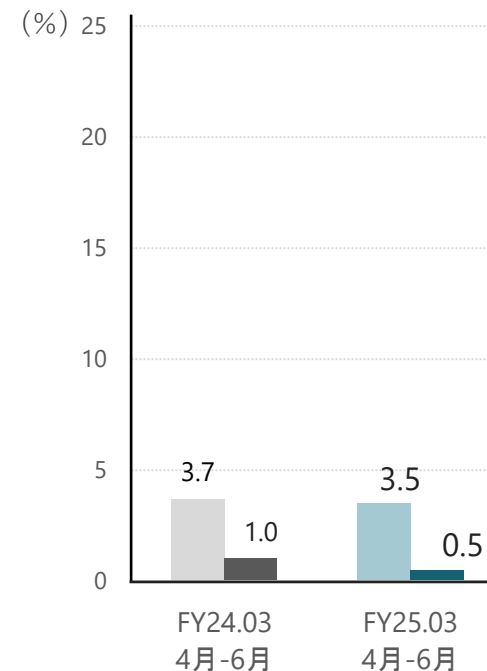
コマース全体



物品販売



チケット販売



中古車領域の取引店舗数と月額単価推移

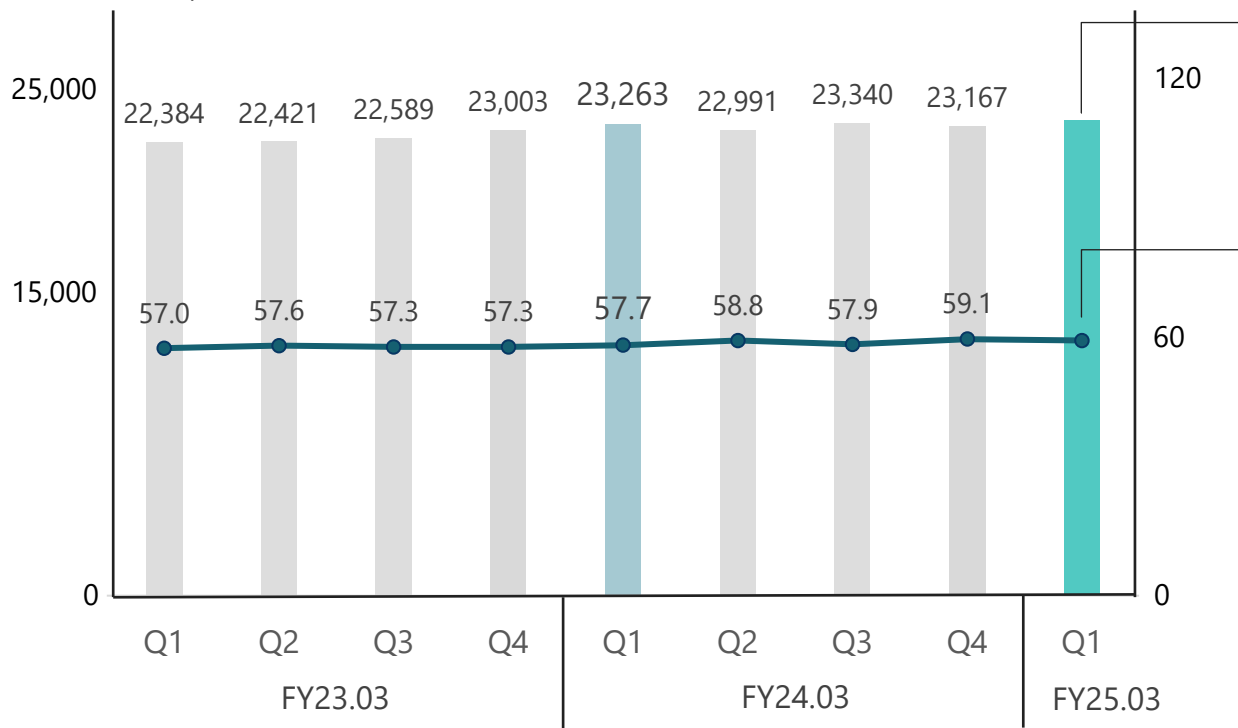
国産車/輸入車販売店ともに新規営業を強化し、取引店舗数を拡大



MOTOR GATE

取引店舗数
(単位：店舗)

月額単価
(単位：千円)



取引店舗数*1

23,463店舗

(業界シェア55.1%)

前期対比
+0.9%

月額単価

58.8千円

前期対比
+2.0%

解約率*2

2.1%

(12ヶ月平均)

MRR*3

13.8億円

(2024年6月)

*1:対象マーケット(当社調べ) 42,581店舗
営業活動における目視での確認による調査(2024年3月時点)

*2:解約率は2023年4月~2024年3月までの値です。

*3:Monthly Recurring Revenueの略称です。
対象月の月末時点における継続課金取引先に係る月額料金の合計額です。

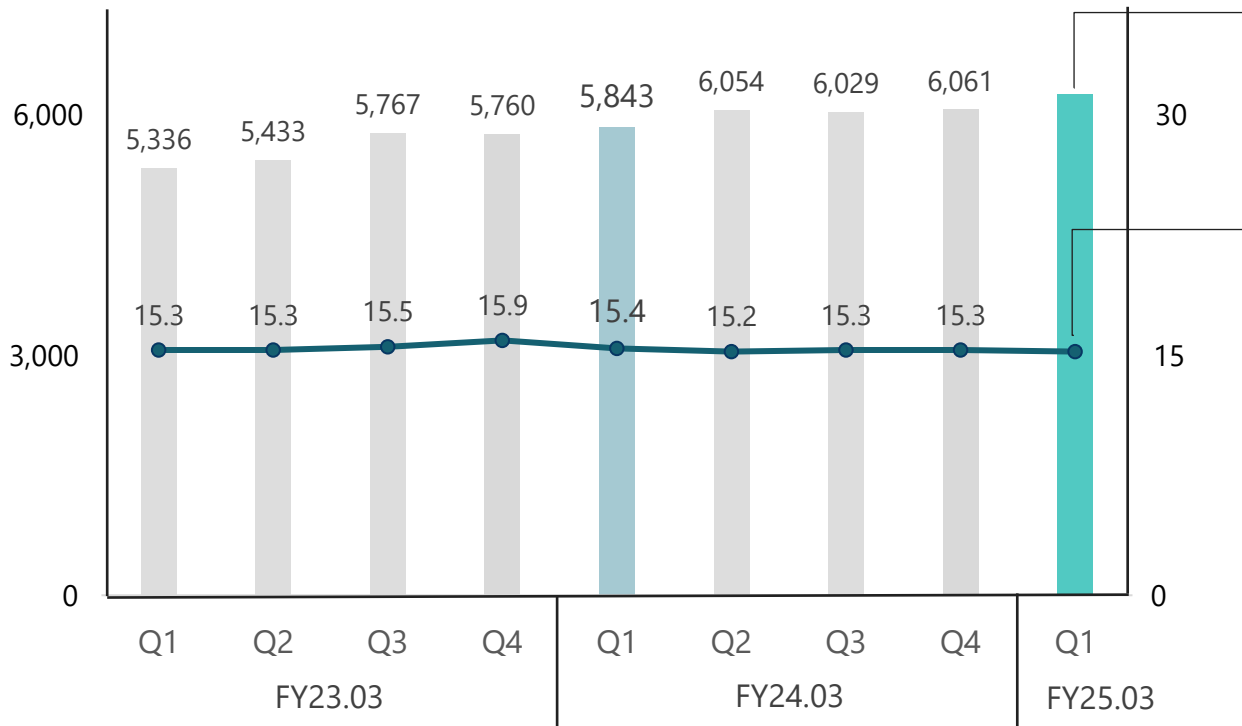
整備領域の取引工場数と月額単価推移

整備領域に新たに参入する企業との取引拡大が計画通りに進捗



取引工場数
(単位：工場)

月額単価
(単位：千円)



取引工場数*1

6,259工場

(業界シェア6.8%)

前期対比
+7.1%

月額単価*2

15.2千円

前期対比
▲1.7%

解約率*3

1.1%

(12ヶ月平均)

MRR*4

0.9億円

(2024年6月)

*1:対象マーケット 92,329工場
一般社団法人日本自動車整備振興会連合会
認証事業場および指定事業場の推移(2024年3月末集計)

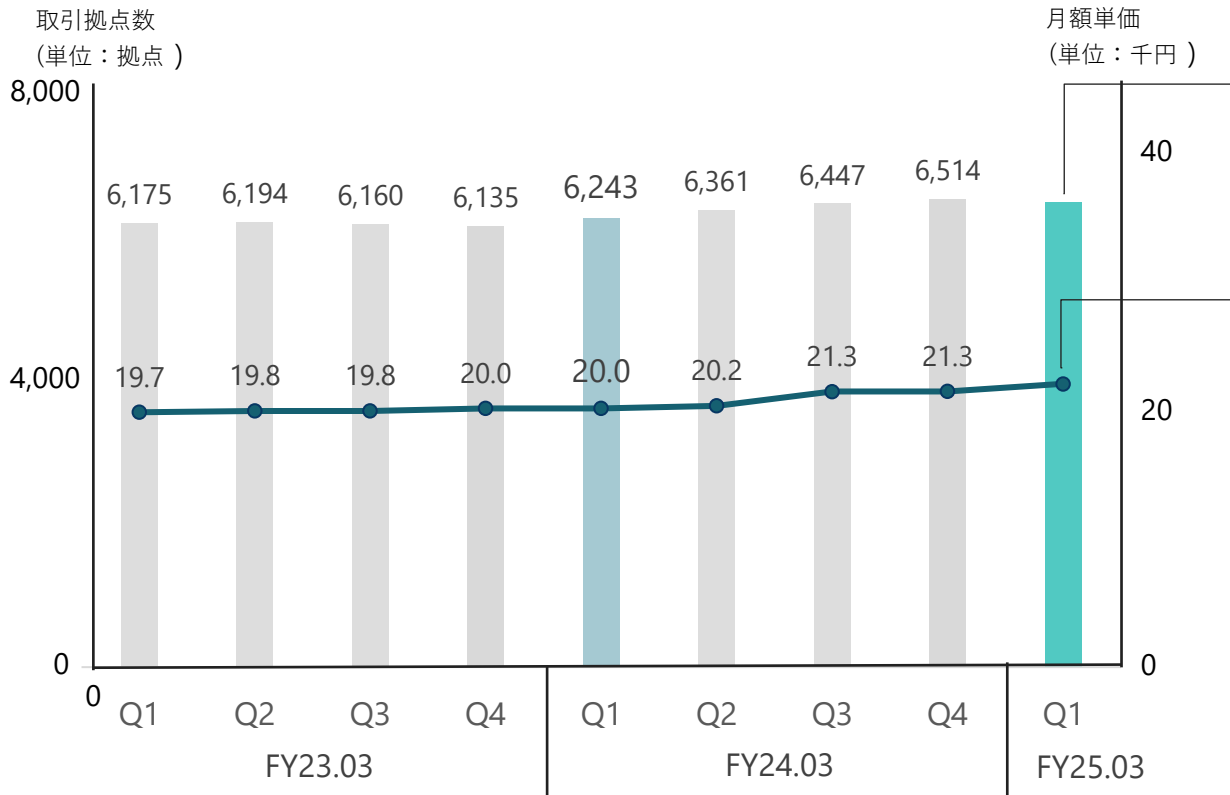
*2:MOTOR GATE PIT INの月額利用料を含みます。

*3:解約率は2023年4月～2024年3月までの値です。

*4:Monthly Recurring Revenueの略称です。
対象月の月末時点における継続課金取引先に係る
月額料金の合計額です。

新車領域の取引拠点数と月額単価推移

メーカーとの協力体制によるオプション商品の導入が進み、月額単価が上昇



取引拠点数*1
6,457 拠点
(業界シェア48.1%)

前期対比
+3.4%

月額単価
21.9 千円

前期対比
+9.6%

解約率*2 **0.1%**
(12ヶ月平均)

MRR *3 **1.4** 億円
(2024年6月)

*1:対象マーケット(当社調べ) 13,435拠点
株式会社日刊自動車新聞社_自動車年鑑2023-2024年版を
参考に、営業活動における目視での確認による調査を合わ
せて算出(2024年3月時点)

*2:解約率は2023年4月~2024年3月までの値です。

*3:Monthly Recurring Revenueの略称です。
対象月の月末時点における継続課金取引先に係わる
月額料金の合計額です。

挑戦を未来の力に

PROTO

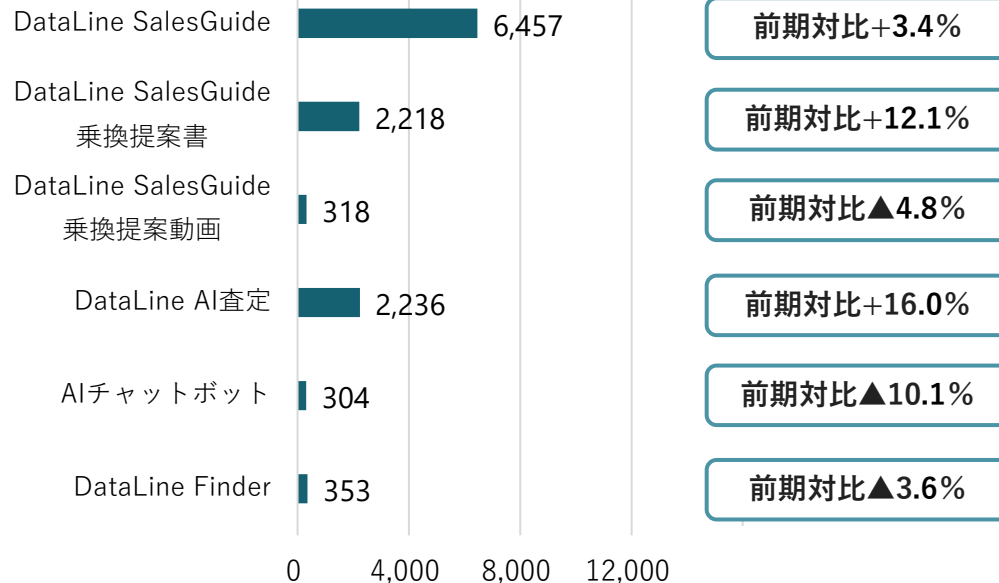
プロト コーポレーション

Appendix

—KPI・業績—

国産車メーカー、インポーターとの協力体制を深め、オプションサービスの獲得が伸長

2024年6月実績（導入拠点数）



対象マーケット数：13,435拠点

2025年3月期第1四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2024年3月期 期末		2025年3月期 第1四半期		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
流動資産	44,539	66.9%	43,266	65.5%	▲1,273	97.1%
固定資産	22,065	33.1%	22,826	34.5%	761	103.4%
流動負債	17,586	26.4%	16,492	25.0%	▲1,093	93.8%
固定負債	1,353	2.0%	1,329	2.0%	▲24	98.2%
純資産	47,664	71.6%	48,270	73.0%	605	101.3%
総資産	66,604	100.0%	66,092	100.0%	▲512	99.2%

(単位：百万円)	2024年3月期 期末		2025年3月期 第1四半期		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
現金及び預金	25,764	38.7%	24,935	37.7%	▲828	96.8%
有利子負債	4,910	7.4%	5,081	7.7%	170	103.5%
ネットキャッシュ	20,853	31.3%	19,853	30.0%	▲999	95.2%

2025年3月期第1四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
営業活動によるキャッシュ・フロー	897	1,193	295
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲742	▲1,291	▲548
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲459	▲809	▲349
現金及び現金同等物の期末残高	23,228	24,580	1,351

(単位：百万円)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
投資額（有形・無形固定資産）	261	1,248	987
減価償却費	254	309	54
のれん償却額	54	56	1

連結業績（四半期推移）

(単位：百万円)	2022. 3期				2023. 3期				2024. 3期				2025. 3期 Q1
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
売上高	13,661	12,646	16,384	14,753	23,784	26,027	29,518	26,310	27,220	27,337	32,299	28,690	29,690
売上総利益	6,233	5,752	6,603	6,037	6,709	6,554	7,688	6,991	7,317	6,850	7,772	6,824	7,591
E B I T D A *	2,096	1,606	2,366	1,591	2,415	1,907	2,760	1,763	2,541	1,872	2,902	1,743	2,643
営業利益	1,780	1,304	2,057	1,280	2,082	1,525	2,368	1,360	2,231	1,542	2,554	1,376	2,277
経常利益	1,865	1,365	2,064	1,327	2,100	1,568	1,709	1,584	2,755	1,562	2,501	1,455	2,323
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,281	1,341	1,426	830	1,398	1,002	1,089	933	1,808	1,027	1,716	918	1,595

販売費及び一般管理費	4,452	4,448	4,545	4,757	4,627	5,028	5,319	5,631	5,085	5,308	5,218	5,447	5,314
人件費	1,797	1,647	1,682	1,722	1,808	1,828	1,913	1,906	1,942	1,936	1,977	2,018	2,067
広告宣伝費	989	1,421	1,206	1,535	1,132	1,409	1,396	1,690	1,315	1,493	1,203	1,469	1,325
その他	1,665	1,379	1,656	1,500	1,687	1,790	2,010	2,033	1,827	1,878	2,037	1,960	1,921

* EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

連結業績 セグメント別PL（四半期推移）

(単位：百万円)		2023.3期				2024.3期				2025.3期 Q1
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
プラットフォーム	売上高	7,364	7,478	7,622	7,839	7,767	7,904	8,044	7,750	8,145
	営業利益	2,328	2,038	2,243	1,956	2,430	2,125	2,529	1,831	2,502
メディア	売上高	5,925	6,043	6,137	6,325	6,309	6,352	6,452	6,556	6,565
	営業利益	1,937	1,694	1,867	1,600	2,041	1,639	2,110	1,762	2,041
サービス	売上高	1,439	1,434	1,485	1,514	1,457	1,552	1,592	1,194	1,579
	営業利益	390	343	375	355	389	486	419	68	460
コマース	売上高	15,233	16,888	19,870	16,555	17,316	17,658	22,077	18,477	19,382
	営業利益	107	▲52	434	▲72	163	▲0	490	▲30	90
物品販売	売上高	6,544	6,324	9,671	7,033	7,166	6,665	10,392	7,661	8,594
	営業利益	79	▲137	352	▲101	62	▲68	419	▲70	32
チケット販売	売上高	8,688	10,564	10,198	9,522	10,150	10,992	11,685	10,816	10,788
	営業利益	28	85	81	28	100	67	70	40	57
その他	売上高	1,186	1,659	2,025	1,871	2,136	1,774	2,176	2,463	2,163
	営業利益	123	38	237	▲19	137	▲47	82	130	229
管理部門	営業利益	▲477	▲498	▲546	▲503	▲499	▲535	▲549	▲555	▲544
合計	売上高	23,784	26,027	29,518	26,266	27,220	27,337	32,299	28,690	29,690
	営業利益	2,082	1,525	2,368	1,360	2,231	1,542	2,554	1,376	2,277

Appendix

ービジネス概要・会社概要ー

企業目標

挑戦し続けることで変化（チェンジング）を生み出す
チェンジング・カンパニー

経営理念

挑戦を未来の力に変え 夢と感動 楽しい！で
社会に貢献することを経営理念とする

“挑戦を未来の力に変える”

これは、今までとは違う発想や枠組みで物事を捉え、今までにない新しい価値を世の中に創造すること。

私たちプロトは、そう考えています。

だからこそ、目先の利益のためではなく、社会課題の解決や夢の実現につながる、人々の感情を動かせる、そんな挑戦に私たちはこだわっていきたい。

これからも「夢と感動 楽しい！」の追求を通じて、世の中に新たな価値を生み出し、真に社会から選ばれる「未来社会のパートナー企業」を目指してまいります。

代表取締役社長 神谷健司

売上高・営業利益の推移

売上高
(億円)
1,400

ゲーのエリア展開

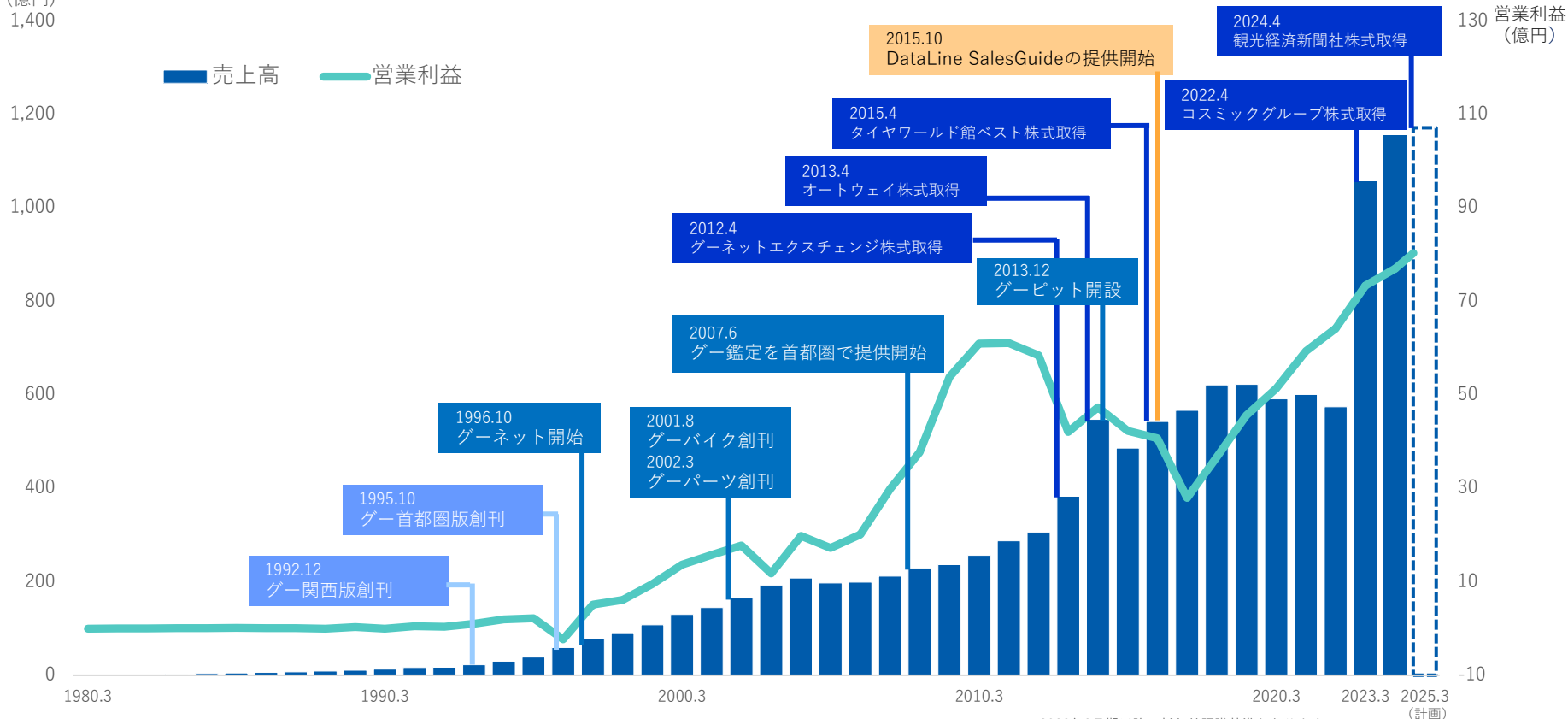
ゲーのシリーズ展開
サービスのITシフト

M&Aの積極展開

事業ポートフォリオの
選択・集中

データプラットフォーム
構築の推進

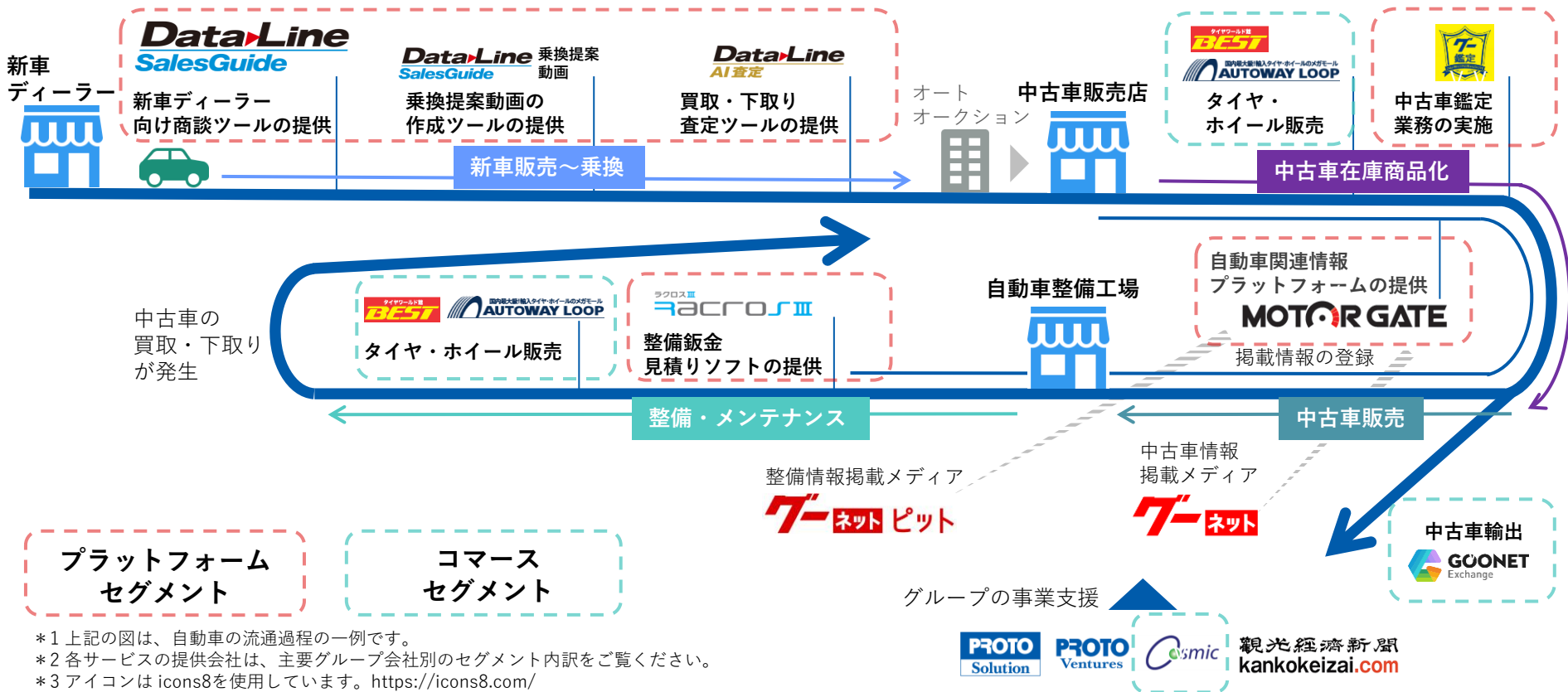
■ 売上高 ■ 営業利益



* 2022年3月期以降は新収益認識基準となります。
* 2025年3月期は2024年5月10日公表の数値となります。

プロトグループによる経営支援

プロトグループは、自動車販売・整備業の経営をトータルサポート



当社プラットフォームのビジネスモデル

プラットフォーム（メディア）

*ユーザー向けのメディアを運営し、当該メディアの掲載管理システムの利用料を受け取るビジネスモデル

ユーザー

- ・コンテンツ閲覧
- ・中古車販売店/整備工場への問い合わせ
- ・来店予約、オンライン商談予約

課金体系：無料

プラットフォーム

MOTOR GATE

- ・自動車関連情報プラットフォーム
(中古車販売店マネジメントシステム)

メディア

ジーネット

ジーネットピット

- ・中古車検索
- ・整備工場検索

クライアント (中古車販売店/整備工場)

- ・中古車・整備情報登録（在庫登録）
- ・ユーザーの問い合わせ対応

課金体系：

MOTOR GATE利用料

(月額固定/在庫台数連動型)

+MOTOR GATE 各種オプション料

プラットフォーム（サービス）

*新車ディーラー向けの商談・査定等支援ツールを提供し、当該サービスの利用料を受け取るビジネスモデル

ユーザー

- ・新車ディーラー担当者より情報の受領

プラットフォーム

DataLine SalesGuide

- ・新車商談時のコスト比較機能
- ・乗り換えシミュレーション機能
- ・将来価格予測機能
- ・乗換提案書機能

DataLine AI査定

- ・査定機能

クライアント (新車ディーラー)









- ・顧客情報登録
- ・ユーザー車両情報登録

課金体系：

月額利用料（月額固定）

+各種オプション料

主要グループ会社別のセグメント内訳

	プラットフォーム		コマース		その他
	メディア	サービス	物品販売	チケット販売	—
	中古車・整備・二輪 メディア	新車商談ツール	物品販売		農業・不動産・飲食・ 養殖・その他
	中古車・整備・二輪 メディア		物品販売		BPO
・ 	鑑定事業				
		整備钣金ソフト ウェア販売			
			タイヤ・ホイール販売		太陽光発電
			タイヤ・ホイール販売		
	アライアンス		中古車輸出		
				チケット販売	
					投資事業
					メディア事業

2024年7月 株式会社ヨツシャア駒ヶ根の株式を取得

株式取得理由 ブランド化が可能な農業生産物の生産拡大

事業概要 いちごの生産、加工(シャーベット、ジャム、冷凍いちご) : その他セグメント

会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション																				
創業	1977年10月1日																				
設立	1979年6月1日																				
資本金	1,849百万円（2024年3月31日現在）																				
発行済株式総数	41,925,300株（2024年3月31日現在）																				
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目18番1号																				
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本（全国36拠点）																				
事業年度末	3月31日																				
社員数	連結：1,523名（2024年3月31日現在） 単体：536名（2024年3月31日現在）																				
上場取引所	東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミア市場																				
連結子会社	<table><tr><td>1. 株式会社オートウェイ</td><td>11. 株式会社プロトベンチャーズ</td></tr><tr><td>2. 株式会社タイヤワールド館ベスト</td><td>12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合</td></tr><tr><td>3. 株式会社グーネットエクスチェンジ</td><td>13. コスミック流通産業株式会社</td></tr><tr><td>4. 株式会社プロトリオス</td><td>14. コスミックGCシステム株式会社</td></tr><tr><td>5. 株式会社カークレド</td><td>15. 沖縄バスケットボール株式会社</td></tr><tr><td>6. 株式会社カーブリックス</td><td>16. 沖縄アリーナ株式会社</td></tr><tr><td>7. 株式会社プロトソリューション</td><td>17. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.</td></tr><tr><td>8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス</td><td>18. 株式会社観光経済新聞社</td></tr><tr><td>9. 株式会社アソシエ</td><td>19. 株式会社ヨッシャア駒ヶ根</td></tr><tr><td>10. 株式会社オニオン</td><td>20. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）</td></tr></table>	1. 株式会社オートウェイ	11. 株式会社プロトベンチャーズ	2. 株式会社タイヤワールド館ベスト	12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合	3. 株式会社グーネットエクスチェンジ	13. コスミック流通産業株式会社	4. 株式会社プロトリオス	14. コスミックGCシステム株式会社	5. 株式会社カークレド	15. 沖縄バスケットボール株式会社	6. 株式会社カーブリックス	16. 沖縄アリーナ株式会社	7. 株式会社プロトソリューション	17. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.	8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス	18. 株式会社観光経済新聞社	9. 株式会社アソシエ	19. 株式会社ヨッシャア駒ヶ根	10. 株式会社オニオン	20. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）
1. 株式会社オートウェイ	11. 株式会社プロトベンチャーズ																				
2. 株式会社タイヤワールド館ベスト	12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合																				
3. 株式会社グーネットエクスチェンジ	13. コスミック流通産業株式会社																				
4. 株式会社プロトリオス	14. コスミックGCシステム株式会社																				
5. 株式会社カークレド	15. 沖縄バスケットボール株式会社																				
6. 株式会社カーブリックス	16. 沖縄アリーナ株式会社																				
7. 株式会社プロトソリューション	17. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.																				
8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス	18. 株式会社観光経済新聞社																				
9. 株式会社アソシエ	19. 株式会社ヨッシャア駒ヶ根																				
10. 株式会社オニオン	20. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）																				

将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があり得ることを、ご承知おきください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション 経理・財務部門 河合・中江

Tel : 052-934-1514

Mail: 4298ir@proto-g.co.jp